

港湾整備事業

東北海道は、酪農に適した冷涼な気候・広大な大地や寒流・暖流の混ざり合う好漁場を有する地域であり、全国の3割以上の生乳生産量、また、1割以上の漁業生産量を誇るなど、我が国の食料供給基地として非常に重要な役割を果たしています。

このような特徴を有する東北海道と本州方面や海外との物流・交流のさらなる円滑化を図るとともに、地場産業の拠点や生活基盤として地域の特性を活かした港湾整備を行います。

釧路港 〔西港地区〕

大型船舶による穀物の大量一括輸送を可能とし、穀物の安定的かつ安価な輸送を確保するため、第2ふ頭において国際物流ターミナルの整備を進めます。
また、船舶の安全な利用を確保するため、第4ふ頭等の静穏度の向上を目的とした防波堤の整備を進めるとともに、泊地浚渫を実施します。

根室港 〔花咲地区〕

港湾貨物の安全で効率的な陸上輸送を確保するため、臨港道路の改良を進めます。
また、荷役や船舶係留に支障が生じている施設について、効率的な利用環境を確保するため、既存岸壁の改良を進めます。

霧多布港 〔本港地区〕

利用船舶や施設の安全を確保するため、航路や用地護岸の整備を進めます。



釧路港西港区国際物流ターミナル整備状況



根室港花咲地区道路整備状況



霧多布航路護岸整備状況

港湾整備事業の概要

事業区分	港湾名	地区名	事業の概要
港湾改修事業	重要港湾 釧路港 (国際バルク戦略港湾)	西港地区	水深14m岸壁・水深14m航路泊地・水深14m泊地・水深12m泊地・新西防波堤・島防波堤
	重要港湾 根室港	花咲地区	道路改良・水深5.5m岸壁改良
	地方港湾 霧多布港	本港地区	港湾施設用地護岸・水深2.5m航路

空港整備事業

東北海道は、世界自然遺産の知床、阿寒・釧路湿原他多数のラムサール条約登録地など、自然に恵まれており、多数の国内・国外の観光客が訪れる中、釧路空港はその交流の玄関口として重要な役割を担っています。

国内・国外航空路線網の基幹空港である釧路空港において、航空機の安全運航に必要な基本施設の老朽化対策事業を実施します。

釧路空港

航空機の安全かつ安定した運航を維持するため、滑走路・誘導路などの老朽化対策を計画的に進め空港機能を保持します。



釧路空港滑走路改良状況

空港整備事業の概要

空港種別	空港名	事業の概要
国管理空港	釧路空港	滑走路改良・誘導路改良